

1. 第2回流域委員会について

河川整備計画の策定に向けて

議題 - 1 第2回流域委員会について

第2回巴川水系流域委員会を振り返り、各委員の主なご意見を整理しました。

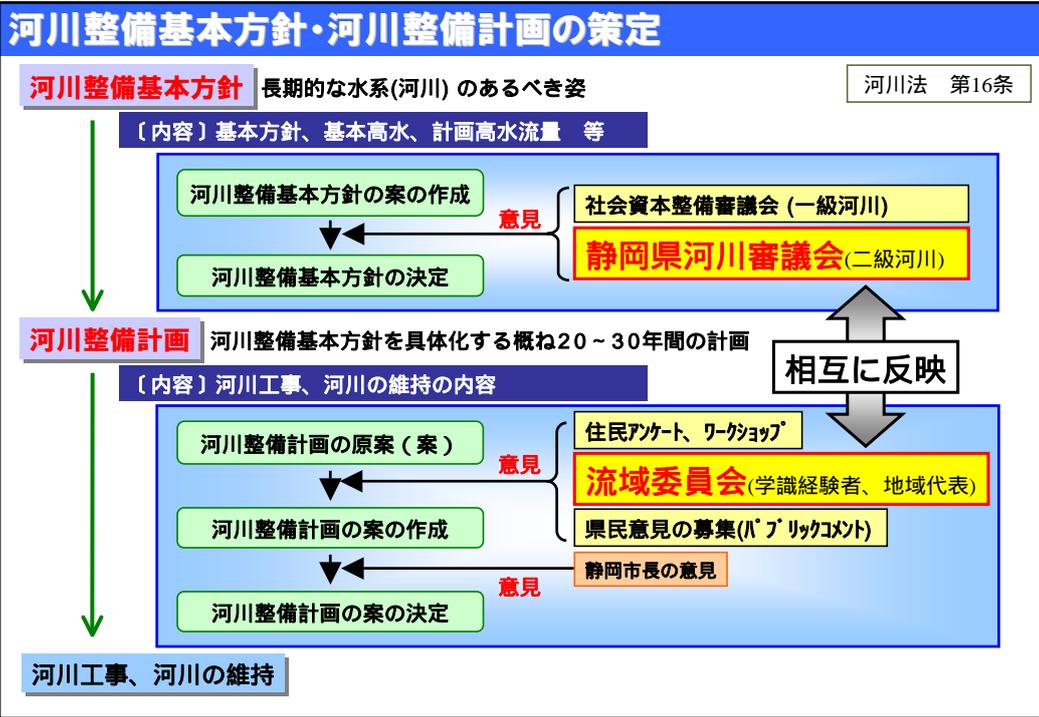
分類	主なご意見・ご提案の内容
全体	1,2,3 ・河川整備方針の策定期間・議論の進捗と、河川整備計画の議論との関連性を示して欲しい。また、流域委員会の意見を河川審議会で、取り入れて頂きたい。(資料 2 2)
	4 ・課題のキーワードについて重要性の高いものから記述した方がよい。(資料 2 3)
	5 ・土地利用規制のかけられた地域の将来利用を示してもらいたい。
	6,7 ・「治水」、「利用」、「環境」の調和が図れる計画の策定。
	8,9 ・予算がなくても実現できることもあります。一つ一つ、短期、中期、長期という考え方で策定していただきたい。
治水	10 ・麻機及び大内遊水池周辺での盛土規制の実施状況、およびその効果についてお尋ねしたい。
	11 ・18河川以外の普通河川などの支流の整備についても、河川整備計画に位置付けることが必要ではないか。
	12 ・準用河川と普通河川の川づくりの基本的なコンセプトについて、各地で成果を上げているかと思しますので、お教え願いたい。
	13 ・本川の改修は進みましたが、支川では未だ浸水被害が多く発生していることから被害軽減に努めて欲しい。
	14 ・地下浸透している箇所を蓋をしないと、根本的な部分を忘れてしまっている。
	15 ・大谷川放水路の完成により近年の浸水被害は改善されつつある。下流に住む住民として大谷地区の方々には深く感謝している。

第2回巴川水系流域委員会を振り返り、各委員の主なご意見を整理しました。

分類	主なご意見・ご提案の内容
利用	16 ・「単独処理浄化槽」の対策が巴川の基本的な水質改善につながると考えられる。
	17 ・地域のなかの「風景」や「景観」を切り口として巴川の現状と課題を整理していただきたい。(参考)
環境	18 ³⁾ レッドデータブックに記載されているような、絶滅の恐れのある動植物も抽出しておく。
	19,20 ・大谷川放水路には重要な生物が存在するため、移植や移転を考えて環境と治水の両立を図っていただきたい。
人との かかわり	21 ・整備後の維持管理について、雑草が繁茂している箇所も多いと思いますので、支流全体の管理、工事完成後の維持管理、及び住民との協力体制についてどのように考えているか。
	22 ・外来生物だけに注目せずに、一般的な普通種であっても意外と害があることを認識して頂きたい。麻機遊水池においても子どもたちが安心して遊びに行けるよう適切な維持管理をお願いします。
	23 ・リバーフレンドシップ制度の拡充を考えていくことが必要と思います。また、活動する団体のそれぞれのレベルに合わせた維持管理の仕組みをつくって頂きたい。
	24 ・行政は、NPOやボランティア団体を把握して、情報発信・収集に努めて頂きたい。

第2回巴川水系流域委員会を振り返り、各委員の主なご意見を整理しました。

分類	主なご意見・ご提案の内容
人との かかわり	25 ・行政の担当者が現場へ行き、お話を伺えるようになれば、地域の希望が聞き取れ、また、協力が得やすくなる。
	26 ・「静岡市水環境パートナーシップ検討委員会」での検討を踏まえ、連携のあり方、事務局の情報収集・発信について、県と市で連携して取り組んでいただきたい。
	27 ・各団体がどんな活動をして、どんなことがしたいのか発表の場を設定し話しあう。
	28 ・関係する全ての人達が一堂に会して、自分たちの意見を出し合って、その中から未来に投げかけるものを見つけ出していけると良い。
	29 ・学校教育の場と連帯するとお互いに良い。
	30 ・船に乗って巴川を知る体験学習を次世代を担う子供達を育てるんだという信念から復活できるように期待しています。
	31 ・盛土規制の対象の皆さんに感謝の気持ちを持って、遊水地域には遊水機能があるということ、ぜひとも情報発信して頂きたい。
	32 ・地域に対して、「このぐらいのことはお願いしたい」、あるいは「して頂くと助かりますよ」という形で情報を流せば川で作業ができる。
	33 ・遊水池や放水路の機能や改善効果を、もう少しわかりやすい形で住民にプレゼンテーションしていく必要がある。



1. 治水に関する現状と課題
議題 - 1 第2回流域委員会について

浸水被害の軽減のため、浸水原因などの実態を考慮し、治水安全度を向上させる対策(ハード面、ソフト面)が必要である。

課題を解決するためのキーワード

- 浸水被害軽減のため、**河川施設の一層の整備**
- 静岡市の河川・下水道**との計画や整備における**連携強化**
- 流域一体となった**流出抑制対策などの一層の推進**
- 防災情報の提供、ハザードマップの周知など**ソフト対策の推進**
 (住民の防災意識の高揚・防災教育)
- 河道流下能力の確保・既存施設の**適切な維持管理**の継続

修正なし

各地で貴重な水辺空間として利用されており、さらなる拡大と活用が期待されるため、施設の利活用の実態を把握し、適切に対応する必要がある。

課題を解決するためのキーワード

河川の歴史や文化の伝承

地域と河川の深い関わりの認識と構築

住民意見の反映と活力の発揮、

住民参画による川の魅力再発見

利用者のマナー向上（ゴミ、落書き、利用ルール）

修正前

修正前

各地で貴重な水辺空間として利用されており、さらなる拡大と活用が期待されるため、施設の利活用の実態を把握し、適切に対応する必要がある。

課題を解決するためのキーワード

住民意見の反映と活力の発揮、

住民参画による川の魅力再発見

地域と河川の深い関わりの認識と構築

河川の歴史や文化の伝承

利用者のマナー向上（ゴミ、落書き、利用ルール）

修正後

修正後

残された貴重な自然環境を保全し、守り伝えることが求められているが、護岸整備などにより、低下した河川の魅力を取り戻すことが必要である。

課題を解決するためのキーワード

学識者との連携（自然再生、ダイオキシン類対策）

自然環境に対する**流域（上下流）一環の取組み**

市民、団体、企業、行政などとの**ネットワーク化**

河川に対する**要望の収集と適切な情報の発信**

巴川流域麻機遊水地**自然再生**構想・実施計画

修正前

修正前



残された貴重な自然環境を保全し、守り伝えることが求められているが、護岸整備などにより、低下した河川の魅力を取り戻すことが必要である。

課題を解決するためのキーワード

自然環境に対する**流域（上下流）一環の取組み**

市民、団体、企業、行政などとの**ネットワーク化**

河川に対する**要望の収集と適切な情報の発信**

学識者との連携（自然再生、ダイオキシン類対策）

巴川流域麻機遊水地**自然再生**構想・実施計画

修正後

修正後



各地で河川との関わりが継続、復活してるものの、河川と流域住民との関わりがまだまだ希薄であるため、流域一環の積極的な取組みが必要である。

課題を解決するためのキーワード

県関係部局、静岡市との連携

市民、団体、企業、行政などとの**連携、協働の推進**

川の**魅力再発見、歴史や文化の伝承、環境教育**

河川に関わる様々な**情報の収集・提供**

次世代に引き継ぐべき景観（能島橋）



乗船体験学習



修正前

修正前

各地で河川との関わりが継続、復活してるものの、河川と流域住民との関わりがまだまだ希薄であるため、流域一環の積極的な取組みが必要である。

課題を解決するためのキーワード

市民、団体、企業、行政などとの**連携、協働の推進**

河川に関わる様々な**情報の収集・提供**

川の**魅力再発見、歴史や文化の伝承、環境教育**

県関係部局、静岡市との連携

次世代に引き継ぐべき景観（能島橋）



乗船体験学習



修正後

修正後

巴川水系の景観について

- ◆ 巴川（河口部・中流部・上流部）、大谷川放水路、長尾川、大沢川の4河川の景観について整理しました。

河川名		景観フレーズ
巴川	河口	中心市街地をゆったりと流れ、清水湊・江尻宿の歴史・文化などの資源や祭・イベントが豊富で、河畔プロムナードのある地域
	中流	梶原山などの借景に住宅・産業が広がり、清水高部水辺公園・大内遊水地を活かした活動が期待される地域
	上流	龍爪山や賤機山を借景に自然を身近に感じ、麻機遊水地を活かした活動が行なわれている地域
大谷川放水路	駿河湾、有度山・龍爪山の眺望が良い住宅・工業市街地と農地を流れ、地域の散策等のレクリエーション利用される地域	
長尾川	親水護岸と丘陵地の自然が調和し、桜並木と散策道のある住宅市街地が広がり、地域レクリエーション活動が行われる地域	
大沢川	有度山丘陵地を借景に住宅市街地が広がり、桜並木と環境護岸の快適な水辺景観の中で地域コミュニティ活動が進む地域	